

平成17年度 年 報

釧路市立博物館

沿 革

施 設 の 概 要

運 営

組 織

職 員

予 算

利用状況

資 料 収 集

調 査 研 究

教 育 普 及

常設展示

特別展示

各種事業

出 版 物

協 力 事 業

寄贈資料一覧

1 沿革

昭和10年	釧路市立博物館設立委員会が発足。
昭和11年 7月14日	幣舞町旧市役所別館、元水道建設事務所 2 階を陳列室として「釧路市立郷土博物館」を開館。
昭和24年 2月 1日	旧市役所庁舎拡張のため、北大通 5 丁目(旧丸三鶴屋 3 階を借り受け移転開館。
昭和26年 7月28日	鶴ヶ岱公園内に「釧路市立郷土博物館」新館竣工。
昭和27年 1月20日	釧路市立郷土博物館新聞創刊（現在の館報）。
昭和27年 4月 1日	釧路市立郷土博物館が博物館に相当する施設として指定された。（文部省告示第13号）
昭和27年10月30日	釧路市立博物館が博物館として指定された。（文部省告示第162号）
昭和32年 7月 2日	第 5 回全国博物館大会釧路市で開催。
昭和33年 4月 1日	入館料が有料となる（大人10円、学生 5 円）。
昭和35年 4月 1日	館内資料展示替え、5 年計画で開始。
昭和40年 7月 8日	第4回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和41年 7月14日	創立記念30周年記念事業開催。
昭和42年 1月14日	博物館移築促進期成会準備委員会が発足し、移築促進についての陳情が行われる。
昭和43年 8月	佐藤直太郎コレクション1,889点寄贈される。
昭和44年 9月 3日	安倍寛次コレクション3,536点寄贈される。
昭和46年 4月24日	釧路市立郷土博物館友の会が発足。
昭和47年～平成11年	飯島一雄コレクション約 3 万点寄贈される。
昭和48年 9月	釧路市立郷土博物館新館設計調査小委員会が発足。
昭和52年10月 4日	釧路市埋蔵文化財調査センター開館。
昭和55年 6月18日	釧路市立郷土博物館新館展示等委員会が発足。
昭和56年 5月 1日	新築工事開始。
昭和58年11月 3日	「釧路市立博物館」として開館。
昭和59年 7月 6日	第23回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和61年 7月13日	創立50周年記念式典・祝賀会開催。
昭和62年10月 6日	第35回全国博物館大会釧路市で開催。
平成元年 2月 9日	昭和63年度全国博物館指導者研究協議会（庶務・自然史部門）釧路市で開催。
平成 3年11月 6日	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会当館にて開催。

2 施設の概要

(1)	所在地	釧路市春湖台 1 番 7 号				
(2)	総事業費	1,911,326,000円				
(3)	敷地面積	4,450.00㎡				
(4)	建築面積	1,528.78㎡				
(5)	延床面積	4,301.76㎡				
(6)	建築構造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 4 階				
(7)	工 期	建築工事着工 昭和56年 5 月 1 日		展示工事着工 昭和57年 6 月 4 日		
		ク 竣工 昭和58年 6 月30日		ク 竣工 昭和58年10月15日		
(8)	各階面積					
	1 階	1,500.09㎡	3 階	571.17㎡	塔 屋	145.65㎡
	2 階	886.75㎡	4 階	755.78㎡	地 下	422.30㎡
(9)	主室面積					
	展示室	1,162.88㎡ (1.24階)		市民研究室 21.84㎡ (3 階)		
	講 堂	165.89㎡ (1 階)		図書室 103.39㎡ (3 階)		
	工作室	103.78㎡ (1 階)		実験室 15.54㎡ (3 階)		
	滅菌消毒室	12.39㎡ (1 階)		冷凍室 10.92㎡ (3 階)		
	事務室	86.63㎡ (1.2階)		恒温恒湿収蔵庫 34.61㎡ (3 階)		
	特別展示室	97.95㎡ (2 階)		印刷室 11.13㎡ (3 階)		
	魚類収蔵庫	30.53㎡ (2 階)		会議室 44.15㎡ (3 階)		
	開拓記念物収蔵庫	128.00㎡ (2 階)		植物収蔵庫 30.48㎡ (4 階)		
	応接室	21.97㎡ (2 階)		動物収蔵庫 28.00㎡ (4 階)		
	地学収蔵庫Ⅰ・Ⅱ	18.77㎡ (3 階)		開拓記念物収蔵庫 91.32㎡ (4 階)		
	研究室	66.37㎡ (3 階)		機械・ボイラー室 327.79㎡ (地下)		
(10)	収容能力					
	展 示 室	600人	講 堂	100人	市民研究室	10人
					会議室	25人

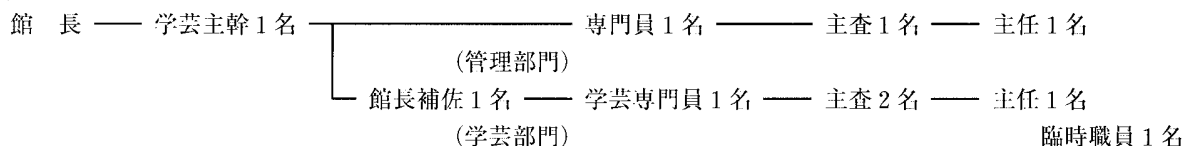
釧路市立博物館

(1) 建築意匠

釧路市立博物館は、釧路市埋蔵文化財調査センター（延床面積973.41㎡）と併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞受賞作品。タンチョウが羽をひろげた姿をイメージした建物である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現したものである。

3 運 営

(1) 組 織



(2) 職 員

館 長	西 幸隆	主 査	加藤 春雄
学芸主幹 (学芸員)	橋本 正雄	主 査	黒坂之美子
館長補佐 (学芸員)	針生 勤	主 査 (学芸員)	戸田 恭司
専 門 員	五ノ井秀明	主 任	赤川 祐征
学芸専門員 (学芸員)	山代 淳一	主 任 (学芸員)	土屋 慶丞

(3) 私の博物館企画選定委員 (任期 平成17年 4 月～平成18年 3 月)

委員長 林田 恒夫 病院事務長	委 員 新妻 賢二 会社社長
委 員 我孫子尚枝 陶芸家	〃 藤田 民子 詩 人
〃 高嶋 幸男 大学教授	

(4) 予 算 (平成17年度)

歳入予算総額	7,337千円	歳出予算総額	46,532千円
博物館入館料	6,860千円	管理運営費	44,258千円
その他	477千円	事業費	720千円
		資料収集整備費	233千円
		教育普及活動費	816千円
		調査研究費	515千円

(5) 平成17年度 利用状況

月別入館者状況

月 別	開館 日数	個 人				団 体				有 料 入館者	無 料 入館者	入館者 総 数
		一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計	一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計			
4	26	572	14	126	712	0	0	95	0	807	466	1,273
5	25	961	13	275	1,249	23	0	0	23	1,272	1,359	2,631
6	26	488	11	80	579	113	0	0	113	692	631	1,323
7	27	927	10	164	1,101	143	157	58	358	1,459	893	2,352
8	26	1,422	33	320	1,775	73	15	90	178	1,953	993	2,946
9	26	889	1	105	995	49	270	124	443	1,438	1,443	2,881
10	26	619	11	67	697	120	38	0	158	855	872	1,727
11	26	416	3	75	494	89	0	0	89	583	703	1,286
12	25	190	2	24	216	19	0	0	19	235	453	688
1	21	270	2	66	338	0	39	0	39	377	420	797
2	23	308	0	32	340	95	0	8	103	443	410	853
3	26	374	17	71	462	0	0	0	163	462	643	1,105
計	303	7,436	117	1,405	8,958	819	519	280	1,618	10,576	9,286	19,862

4 資料収集

収蔵資料状況（平成18年3月現在）

区 分	平成15年度 新収蔵資料数	平成16年度 新収蔵資料数	平成17年度 までの累計	合 計
人 文 科 学	12,432	461	129	48,068
自 然 科 学	576	6,731	3,504	67,756
美 術 工 芸	0	0	0	215
合 計	13,008	7,192	3,633	116,039

5 調査研究

釧路湿原継続調査、春採湖のヒブナ生息調査、釧路地方の鳥獣類生息調査・昆虫相調査・淡水魚の生態調査・貝化石の調査、イトヨの形態学的生態学的調査、博物館資料の分類整理に関する調査研究・保存処理研究。

6 教育普及

(1) 常設展示

本館の常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられた自然と文化」である。北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史を、この地方ならではの素材で7つのテーマに分けて紹介している。

- 1) 1階エントランスホール〔氷期の使者マンモス〕 正面玄関のホールにマンモスの骨格標本が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。
- 2) 1階展示室〔釧路の大地〕 地球模型で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づけられるまでを説明する。特に湿原については、古地図や断層断面で湿原のおいたちが理解できるようにしている。
- 3) 1階展示室〔釧路の生物〕 ジオラマにより釧路湿原の植物・魚の種類や形態を、本数や密生の様子生育立地を正確に復元した。針葉樹や広葉樹の入り混じる樹林や、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類の生態を展示している。
- 4) 1階展示室〔釧路の海〕 寒海性の魚を、砂底・岩礁・外洋・深海にわけて紹介し、サケ・コンブ・海獣類や、海鳥繁殖地として知られる大黒島での鳥獣のすみわけを展示している。
- 5) 2階展示室〔釧路の先史時代〕 復元資料として、東貝塚の貝層断面、東釧路人の墓、三津浦遺跡の灰址、フシココタンチャシのアカウミガメがある。古釧路湾のころ、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。
- 6) 2階展示室〔釧路の近世と近代〕 国内でも最大規模の霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインに配置し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた馬産・林業・炭鉱・漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。
- 7) 4階展示室〔サコロベの人々〕 釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に430点の資料を選び、壁側は狩猟・漁撈・採集・農耕、衣・食・住、信仰・儀式、交通・運搬の9項目に分類し、中央には首飾り・耳輪、喫煙具・育児具・楽器・棒酒甕・鐙などを抽出し展示している。
- 8) 4階展示室〔タンチョウ〕 映像で世界の鶴の種類やタンチョウの四季の生活を紹介。骨格標本と剥製標本、それに羽、気管の実物模型を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者をとりかこみ、展示物のなかを散策しながら情報の得られる直径10mの大型ジオラマは、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、6月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景の中で楽しめる。
- 9) 立体環境音楽 常設展示は8つの小テーマからなるが、これらのテーマの情景を音で伝達するため、展示室には立体環境音楽が採用されている。各コーナーにより、「湿原を吹きぬける風と水の流れ」、「ひろがる北の海」、「時の流れ」、「コタンを吹きぬける風や梢からこぼれる陽の光」、「湿原とタンチョウ」など異なったテーマの音楽が流れ、見学者に五感で訴える展示となっている。

(2) 特別展示

1) 特別展「収蔵資料展」 平成17年4月24日(日)～5月29日(日)

常設展示（展示数4,100点）では展示されていない未公開資料を含めた所蔵資料を展示。動物・昆虫・地学・魚類・歴史の各分野の資料あわせて約150点を紹介した。

2) 特別展「大昔の飾りと信仰」 平成17年7月30日(土)～8月21日(日)

北海道内における先史時代の遺跡から出土した装飾品や、動物をあしらった遺物などを展示し、当時の精神世界の一端を紹介した。主な展示品は、国の重要文化財に指定されている知内町湯の里4遺跡の玉（レプリカ）や千歳市ママチ遺跡出土の土面（レプリカ）、伊達市有珠10遺跡の貝製腕輪（レプリカ）。その他道内各遺跡の玉や土偶、釧路市内遺跡のコハク玉など、約350点を展示。尚、同特別展に合わせて8月7日にコハク玉づくり教室、8月20日には北海道埋蔵文化財センター田中哲郎普及活動課課長を講師に招き、特別講演会を実施した。

3) 特別展・私の博物館「日本酒文化と酔っ払いのたわごと」

平成17年10月29日(土)～11月30日(日)

提供者：宇田川洋氏。調査・研究を通して当館と関わりの深い宇田川洋氏（東京大学大学院教授）が収集・保管している約150種の日本酒のラベルを展示。あわせて、地元釧路の酒造会社福司酒造が所蔵する酒造りの用具等も借用して展示した。

4) 移動博物館

平成17年10月26日(水)～11月8日(火) 釧路市立湖畔小学校

平成17年11月8日(火)～11月15日(火) 釧路市立清明小学校

平成17年11月15日(火)～11月24日(木) コア大空

博物館として特色ある生涯学習を展開するために、収蔵資料を活用した巡回展を、小学校及びコミュニティセンター等を会場に開催。尚、小学校では、伝統技術の実演を合わせて実施した。

5) 特別展・私の博物館「私のハンカチコレクション」

平成18年2月25日(土)～3月26日(日)

提供者：中塚法子氏。手ごろに手に入れられるものとして、中塚さんが昭和40年代より集めた女性用ハンカチ250点を展示。あわせて昭和40年代のハンドバックなどの携帯品数点と市内の様子が分かる写真等の資料も展示した。

(3) 各種事業

月 日	事業名	対象	参加者数
4月9日	釧路昆虫同好会総会 3階会議室		
4月24日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	49名
4月24日～ 5月29日	特別展「収蔵資料展」 特別展示室		
4月28日～ 5月29日	「くしろふるさとカルタ原画展」 荻山勝之氏 マンモスホール		
5月3日～ 5月5日	体験講座「博物館で遊ぼう」 博物館講堂	小学生～一般	506名
5月12・13日	キタサンショウウオ生息調査		
5月21日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	31名
5月22日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	26名
5月25日	博物館友の会 役員会 総会 交流プラザさいわい		
5月29日	釧路町森林公園「探鳥会」	小学生～一般	26名
5月31日	館内資料整理日		
6月3日	道東3管内博物館施設等連絡協議会16年度役員会・総会 3階会議室		
6月5日	歴史探訪会「まちなみ散歩」	小学生～一般	15名
6月11日～ 6月26日	特別展「タンチョウイラスト展」 マンモスホール		
6月11日	「しらべてみよう春採湖の昆虫－春採湖畔の土壌動物－」	小学生～一般	15名
6月12日	北斗湿原「探鳥会」	小学生～一般	11名
	体験講座「化石クリーニング教室」	小学生～一般	11名
6月18日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	28名
6月25日	「しらべてみよう春採湖の魚」	小学生～一般	3名
6月26日	春採湖畔一週「探鳥会」	小学生～一般	21名
6月29日	道博協芸職員部会役員会・総会 小樽市、西館長・針生補佐出席		
7月5日	ヒブナ・フナ産卵及び水草生育調査		



収蔵資料展



博物館で遊ぼう



化石クリーニング教室

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
7月6日	教育大学博物館実習		
7月7日	春採湖調査会例会		
7月7日	「私の博物館」企画選定委員会 3階会議室		
7月9日	「しらべてみよう春採湖の昆虫－オサムシ・ゴミムシ」	小学生～一般	8名
7月10日	地形・地質探訪会「和琴半島観察会」	小学生～一般	16名
7月16日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	52名
7月23日	「しらべてみよう春採湖の魚」	小学生～一般	13名
7月24日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	25名
	「親子の昆虫採集・観察会」 温根内	小学生～一般	22名
	昆虫の名前の調べる会 博物館講堂	小学生～一般	12名
7月30日～ 8月21日	特別展「大昔の飾りと信仰」特別展示室		
7月31日	夏休み親子土器づくり教室 博物館講堂	小学生～一般	37名
8月2日	平成17年度博物館実習 7大学7名		
8月3日	体験講座「せんべいをつくろう」 講堂・前庭	小・中学生	30名
8月5日	「化石レプリカ教室」 博物館講堂	小・中学生	18名
8月7日	コハクまが玉づくり	小・中学生	28名
8月10日～ 8月11日	アイヌ文化普及啓発セミナー		
8月13日	しらべてみよう春採湖の昆虫「トンボ池の昆虫」	小学生～一般	27名
8月20日	特別展講演会「北海道の装飾品」 北海道埋文センター田中哲郎氏	小学生～一般	29名
	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	21名
8月23日	「おさかなセミナー2005」 パネル展 北の海に生きるカニたち マンモスホール		
8月24日	友の会「博物館まつり」実行委員会		
8月28日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	30名
	歴史探訪会「まちなみ散歩」	小学生～一般	8名
9月10日	しらべてみよう春採湖の昆虫「スズメバチの観察」	小学生～一般	13名
9月11日	「しらべてみよう春採湖の魚」	小学生～一般	12名
9月17日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	33名
9月25日	「第15回博物館まつり」講堂・前庭	小学生～一般	330名
10月1日～ 10月23日	「紙人形で綴る昭和の暮らし展～忘れがたい生活用具たち～」 マンモスホール		
10月2日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 春採湖畔	小学生～一般	13名
10月16日	春採湖畔一周「探鳥会」	小学生～一般	22名
10月18日	道東3管内博物館等施設連絡協議会		
	羅臼町 橋本主幹、戸田主査、土屋主任		
10月20日	史跡整備委員会 陸別町 西館長出席		
10月21日	春採湖のヒブナ稚魚放流		
10月25日	春採湖調査会 博物館講堂		
10月26日～ 11月8日	巡回展「移動博物館」 湖畔小学校		
10月29日～ 11月30日	特別展「私の博物館～日本酒文化と酔っ払いのたわごと～」 宇田川洋氏 マンモスホール		
10月29日	ミュージアムコンサート「チェロの夕べ」	小学生～一般	80名
11月2日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会（豊の張替え）」 湖畔小学校		
11月5日	博物館友の会講演会「自然からのメッセージを観光客にどう伝えるか」 杉山伸一氏	小学生～一般	19名



地形・地質探訪会



親子の昆虫採集・観察会



化石レプリカ教室



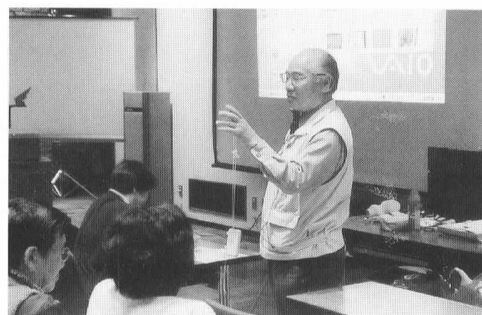
第15回博物館まつり



私の博物館～日本酒文化と酔っ払いのたわごと～

釧路市立博物館

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
11月8日～ 11月14日	巡回展「移動博物館」 清明小学校		
11月11日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会 (豊の張替え)」 清明小学校		
11月13日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	34名
11月15日～ 11月24日	巡回展「移動博物館」 コア大空		
11月19日	学芸員トーク「スズメバチ生息調査から わかったこと」土屋学芸員 博物館講堂	小学生～一般	21名
11月26日	学芸員トーク「温暖化と魚」針生館長補 佐 博物館講堂	小学生～一般	11名
12月3日	学芸員トーク「釧路の野鳥」橋本学芸主 幹 博物館講堂	小学生～一般	28名
12月10日	学芸員トーク「日本酒のあれこれ」戸田 学芸員 博物館講堂	小学生～一般	17名
12月17日	学芸員トーク「化石の話」山代学芸員 博物館講堂	小学生～一般	17名
12月24日～ 1月15日	勾玉づくり 埋文センター展示室	小・中学生	394名
12月28日	体験学習「おそなえもちをつくろう」 講堂・荷解室・車庫	小・中学生	72名
1月12日	「私の博物館」企画選定委員会 3階会 議室		
1月13日	「化石レプリカ教室」 講堂	小・中学生	16名
1月13日～ 2月19日	五島健太郎・時空漫步写真展 マンモス ホール		
1月24日	自然観察会「雪の結晶を作ろう」	小学生～一般	17名
1月29日	日本野鳥の会釧路支部総会		
2月6日	「歩くスキーでアニマルトラッキング」 温根内ビジターセンター・ボランティア レンジャー共催、温根内木道	小学生～一般	31名
2月12日	「あなたが選ぶ春採湖畔花暦200選」 博物館講堂	小学生～一般	32名
2月19日	館長トーク「大陸文化がやってきたころ ー7,000年前の釧路ー」	小学生～一般	104名
2月25日～ 3月26日	特別展「私の博物館～私のハンカチコレ クション～」 中塚法子氏 マンモスホ ール		
3月5日	報告会「ロシアのタンチョウ保護にむけ て」 博物館講堂	小学生～一般	33名
3月12日	「冬の海鳥観察会」釧路市千代ノ浦漁港	小学生～一般	24名
3月14日	標本情報の発信に関する研究会 京都国 立科学博物館 土屋主任出席		
3月17日	夏季特別展打ち合わせ 北海道開拓記念 館 戸田主査出席		
3月23日	道博協役員会 札幌市 西館長出席		



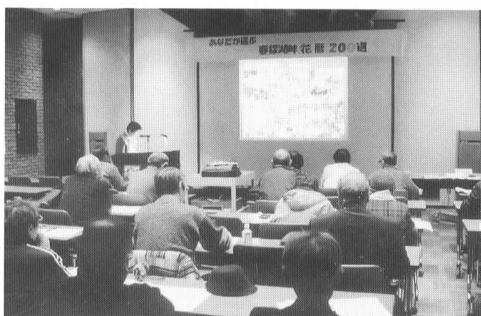
友の会講演会



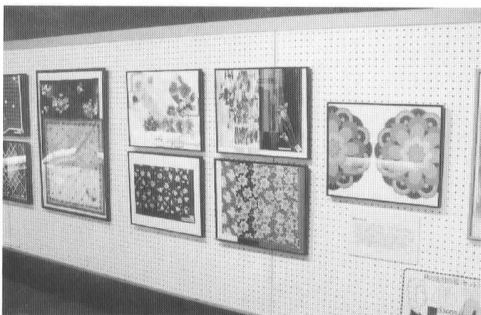
おそなえもちをつくろう



勾玉づくり



あなたが選ぶ春採湖畔花暦200選



私の博物館～私のハンカチコレクション～

(4) 出版物・刊行物

- ・釧路市立博物館館報：昭和27年1月に釧路博物館新聞として発刊以来、平成18年3月号をもって392号に達した。
B5版、12頁、800部、年4回刊行。
- ・釧路市立博物館紀要：昭和47年3月に第1輯を発刊、平成18年3月に第30輯を刊行。
- ・博物館総合案内：B5版、カラー87頁、常設展示物を解説した総合ガイドブック。
- ・解説シリーズ：B6版、釧路の自然・歴史をやさしく解説した小冊子、シリーズ9まで刊行。

7 協力事業

(1) 北海道博物館協会・道東3管内博物館施設等連絡協議会への協力

(2) 関係団体への協力

釧路市立博物館友の会、釧路自然保護協会、日本野鳥の会釧路支部、釧路考古学研究会、釧路昆虫同好会

(3) 国、道、各市町村（教育委員会含む）、博物館その他機関への協力

環境省

(4) 博物館実習

平成17年7月～平成18年2月：北海道教育大学教育学部釧路校7名

平成17年8月2日～平成17年8月7日：千葉大学大学院1名、東京国際大学1名、東北学院大学1名、京都造形芸術大学1名、浅井学園大学1名、札幌学院大学1名、武蔵女子短期大学1名

8 寄贈資料一覧

番号	受入年月日	資 料 名	点数	寄 贈 者
1	2005. 4. 12	御高祖頭巾	1	佐藤 愛子
2	4. 27	マツカワ剥製	1	駒坂 芳夫
3	5. 10	書籍ほか	30	柴野 美幸
4	5. 25	銃剣	1	秋野 富弥
5	7. 22	イノセラムス化石ほか	18	千歳化石会
6	8. 17	寄せ書きほか	26	鈴木 通夫
7	9. 2	火鉢ほか	3	眞島 良夫
8	9. 28	書籍ほか	10	鎌田 陽一
9	10. 6	テレホンカードほか	5	吉川 明子